

会 報 わ か く さ の 風

No.3

社 会 福 祉 法 人 戸 田 わ か く さ 会

〒335-0021 埼玉県戸田市新曽1522-1 わかくさ内

Tel 048-432-8198 Fax 048-432-8298 <http://www.wakakusa-kai.com/>

11/15コンサートに向けて

各事業所が練習に励んでいます！

これらの動向を踏まえ、法人の理念である「ノーマライゼーションの実現」「一人ひとりが豊かに暮らせる地域社会の実現」を目指した事業展開が要請されています。このため法人では各種プロジェクトチームを編成し、中長期計画の見直し、新たな事業展開について検討しています。特に地域での暮らしを支えるために居宅支援事業所とグループホームを計画的に整備したいと考えています。行動障害の強い

一方、社会福祉法人改革の議論の中で、法人の社会貢献活動の方向が示されています。

戸田わかくさ会は26年12月で法人化10周年を迎えます。この10年の間、障害福祉は「障害者自立支援法」から「障害者総合支援法」へ、そして「障害者基本法の改正」「権利条約の批准」と大きく変化しました。特に権利条約の批准はこれからの障害福祉の方向を示しています。

方、介護の必要性が高い重度の方、さらに女性だけのグループホームなどニーズに対応した整備が期待されています。

次に職員の支援力が直接、彼らの生活に大きく影響しますので、法人の社会的使命を果たすには、職員の支援力の向上は必須条件です。今までの法人の研修体系を見直し、新たな研修体系を検討しています。また、市内の障害福祉施設の実践を交流し合う場づくりに取り組んでいます。

さらに社会福祉法人改革が求められています。民間企業などの参入で、経済界からイコールフットリングが強く要請されています。何故、社会福祉法人なのかということを社会に示していかなければなりません。社会福祉法人にとって厳しい時代を迎えますが、体力をつけながら、ゆるぎないしっかりした利用者中心の支援に努めていきたいと思っています。

(統括施設長 竹嶋 紘)



あらたな取り組みへの一歩を踏み出そう！
障害のある人々が当たり前前の生活ができるように！

社会福祉法人戸田わかくさ会

法人化一〇周年記念事業を開催

11月15日(土) 於…戸田市文化会館

この秋の最大のイベントは11月15日(土)に戸田市文化会館で開催する「社会福祉法人戸田わかくさ会法人化10周年記念式典」です。

■戸田わかくさ会の歩み

昭和62年、戸田市心身しょうがい児・者を守る親の会の事業として戸田市の補助金を得て3人の重度障害者と常勤職員1名、非常勤職員3名で「わかくさ生活実習所」が開所しました。当初より戸田市のご指導・ご支援を得て活動し、18年を経て平成16年に社会福祉法人戸田わかくさ会として認可を受けました。更に10年、関連事業を増やしながら今日を迎えます。

特に、平成23年3月に財団法人JKAの補助を得て建設したグリーングラス上戸田新築、平成25年5月には国や県の建設費補助、戸田市から土地の無償貸与、後援会や関

係者のご支援を得て、わかくさ新築移転など大きな節目も乗り越えてきました。

■記念事業のご案内

今回の記念事業は、社会福祉法人戸田わかくさ会の認可以降の10年間の歩みを振り返り、市民の皆様とともに今後の活動を展望する機会として位置付けるもので、大きく3つの自主事業と一つの関連事業からなります。

■法人化10周年記念式典

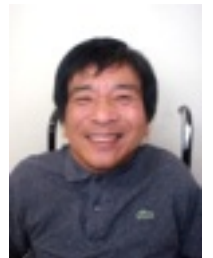
午前9時半～

社会福祉法人戸田わかくさ会にご理解・ご協力いただいた皆様と10年間を振り返るとともに、法人の活動へのご支援に対する感謝の意を表する機会とする予定です。

現在、関係者の皆様にご案内・ご招待の準備を進めております。

■記念講演 11時～

「一人ひとりが豊かに暮らすために障害者の自立と地域づくり」



愛知淑徳大学
谷口明広 教授

愛知淑徳大学 社会貢献学部

谷口明広教授

今後の活動や地域福祉の広がりを展望することを目的に講演会を開催します。国内外の福祉事情や当事者活動・支援者育成活動、教育・医療分野など多様な分野に精通されている先生の講演は地域福祉の向上を目指す当法人の活動への指針ともなると大変期待しております。また、福祉に関心のある市民への「公開講座」としても位置づけていますので、聴講希望の方は下記問い合わせ先までお申し込みください。

■『感じる表現展』の開催

平成24年度より、わかくさ・ゆうゆうで実施している表現活動。利用者の気持ちを、自由に表現する手

段として『絵画』を取り入れ、数々の名作を生み出してきました。

この間、埼玉県障害者アート展、地域の武蔵野銀行戸田西支店への展示等着実に活動の幅を広げて来ました。

今回、法人10周年記念行事の一環として、それらの素晴らしい作品を展示致します。一点一点、利用者の個性が表れた作品が、展示室一杯に広がります。色鮮やかな作品、斬新なアイデアの作品、心が温かくなる作品などなど。わかくさ会以外の事業所の利用者作品も展示予定となっております。

当日はアート作品を使用した自主製品の販売も致します。来年のカレンダーも販売予定ですので、ご期待ください。

『感じる表現展』開催日程

日時：11月14日(金)～16日(日)

午前10時～午後6時

場所：戸田市文化会館

展示室・市民ギャラリー

【問い合わせ先】

戸田わかくさ会法人本部
TEL 048・432・8198

ありがとうございますコンサートに向け頑張っています!

コンサートも本番まで残り一ヶ月少々となりました。今回の演奏会は戸田市始まって以来の新しい試みですので、ぜひとも成功させたいものですね。

ご承知のように実行委員会が主体となって運営を進めています。戸田わかくさ会からは3事業所の参加を予定しています。それぞれ体操やダンスや楽器演奏等を予定しており、練習も9月から本格的にそれぞれの事業所で行ってきましました。また、わかくさ会以外にティンカーベルやベストキッズ、車いすダンスの会の皆さんにも参加していただくこととなりました。



歌と共に振り付けも特訓中!!

二部では参加団体全員での大合唱が行われます。曲目もすでに決定し、利用者・職員・家族会も猛練習を重ねてきました。やはり演奏会ですのただ、歌えばよいというだけではなく聴衆の皆さんに何かを感じ取ってもらうというのは非常に大変です。

他に力強い応援団として「戸田フラウエンコール」「戸田市児童合唱団」の協力を得ることとなりました。どうぞよろしくお願いいたします。

また、最後に美笹中学校ブラスバンドの皆さんに「AKB48の恋

コンサート副実行委員長

小沼 明子さんにインタビュー

コンサート副実行委員長でもある小沼先生には、このコンサート実施にあたり合唱指導、伴奏、編曲、音楽全般にわたってご協力いただいています。

今回は先生にインタビューをお願いしました。

①先生の音楽論・音楽の力(音楽が与える影響)とは?



するフォーチュンクッキー」を演奏してもらいながら、全員で踊ります。楽しく練習すると同時に本番で気分よく達成感を味わえたらいいですね。ホールは千人規模の大きな会場です。ぜひお客さんをお誘いし、たくさんの方に聴いていただけるようお声をかけてください。(鈴木利)



◆とびつきの笑顔になれる。明るい未来に繋がる。

②このコンサートに副委員長としてかける思いは?

◆参加者一人一人の力になればと思っております。

③先生の障害との関わりは、いつ、どんな風でしたか?

◆息子が極小未熟児で1325gで生まれ、2歳まで数々の障害を乗り越え

て来ました。通院中「小児医療センター 岩槻区」さまさまな障害児に接し、我が子の成長に感謝しながら子育てして来ました。

④このコンサートの見どころ・アピールポイントは?

◆参加者全員が一つになり、客席に感動の歌声を響かせたいと考えています。

楽しく、そして感動的な演奏会にしたいと思います。頑張りましょう。私も精一杯がんばります。どうぞよろしく願います。

■小沼明子先生のプロフィール■



東邦音楽大学ピアノ科卒。ピアノを望月玲子、フルートを百瀬洋子、声乐を佐浦國雄、各氏に師事。東邦ウインアカデミーにて、カールマン・ドラフィー氏に師事。現在、声乐を山村容子氏に師事。クラシックから、童謡、唱歌、演歌、ジャズ、フォーク、ロックなど、幅広い演奏活動をされる。ミュージックスタジオ・ファミール音楽教室にて後進の指導に当たっている。

コンサートの成功に向けて

～各事業所の取り組み～

『楽しい!』溢れるみんなの笑顔
～わかくさ～

コンサート実行委員の頼もしい言葉のもと、事業所一丸となって取り組んでいます。

現在、わかくさでは毎日昼食時に館内放送で『恋するフォーチュンクッキー』を流しています。音楽をかけ始めた頃は、戸惑う人もいましたが、今は音楽が流れ始めると、自然と歌ったり踊ったり、みんなの笑顔が溢れています。

また、毎週火曜日に利用者全員で、歌の練習と『恋するフォーチュンクッキー』のダンスと『Let's go』の体操の練習を行っています。

コンサート当日のステージ発表は、今夏大流行した『アナと雪の女王』の劇中歌『Let's go to the top』



(松たか子Ver.)』に合わせた、オリジナルのリハビリ体操です。

この体操は、戸田リハビリテーション病院から来て頂いている理学療法士さんと作業療法士さんと一緒に考えた、わかくさ完全オリジナル体操になっています。リハビリ体操は、昨年わかくさ会まつりで発表した際、大好評でしたので続編を行います。

振付など、覚えることが沢山あって大変ですが、利用者みんなで力を合わせて頑張り、コンサート当日には素晴らしい発表を披露致しますので、ご期待ください。

(林)

歌もダンスも張り切って!

～ゆうゆう～

ゆうゆうではコンサートに向けて、月曜・火曜はゆうゆうの出し物『合唱：WAになって踊ろう(6)』の練習、木曜は2部で歌う合唱曲の練習、金曜はダンス・恋するフォーチュンクッキー(AKB)の練習と、ほぼ毎日練習を重ねているところです。ダンスの振付け



に歌にと、覚えることはたくさんありますが、私たちの活動に日頃からご理解、ご協力を頂いている地域のみなさんに感謝を伝えられるようにと一生懸命練習に取り組んでいます。

練習は午後の仕事をいつもよりもスピードアップして、みんな協力して、30分早く終わらせて練習を行っています。1日の練習時間は30分前後ですが、合唱もダンスも汗びっしょり。まだまだ楽譜は手放せませんが、大きな声で歌えるようになっていきます。

ある利用者の方は、なかなか普段は仕事に向かえないことが多いのですが、フォーチュンクッキーのダンスになるとノリノリになって体を動かし、手を叩き、楽しそうな表情で取り組んでくれます。ゆうゆうでの楽しみの一つになっているようです。また、ある方は練習前から歌詞を確認しながら口ずさんだり、ダンス練習前から周

囲を盛り上げてくれています。普段は、作業種目ごとのグループで取り組むことが多いゆうゆうですが、今回のコンサート、そして練習は、ゆうゆう全員がひとつになって取り組むとても良い機会となっています。本番の際は、歌声はもちろんですが、みんなのがやいている笑顔にも是非ご注目ください。

(六戸)

楽しく歌う!踊る!

～かがやき～

かがやきでは、毎日コンサートに向けて作業終了後に練習に取り組んでいます。

歌の練習を週3回と、ダンスの練習を週1

回、利用者発表を終礼後に週3回練習を実施しています。

日中は仕事がある為、仕事が終わってから



の練習です。短い時間での練習になる為、自主練習をしている方が多くいます。帰宅してから練習している人やお昼休みを使って練習している人もいます。また、CDの貸出を希望する人もいれば、楽譜を希望して練習する人もいます。皆さん本番に向けて個々でもかはやきとしても真剣に取り組んでいる姿が日々見られます。練習の中では、ただ歌う・踊るのではなく細かい音低からリズム、振付けまで確認をしながら行い、練習に励んでいます。また真剣に取り組みながら、「楽しく歌う！踊る！」という事を忘れないようにと声を掛けています。当日は楽しそうに歌って踊る姿や表情にも注目してください。

利用者発表では打楽器によるパフォーマンスを行います。利用者のコンサート

実行委員と振付けや楽器のパフォーマンスを考えました。どのようなようにしたら皆が楽しくパフォーマンスを行えるか、お客様



に楽しんでいただけたかという事も考え話し合いを行いました。練習は皆でリズムを合わせるところから始めます。なかなか合わせるのが難しく苦戦していますが、当日に向けて皆さん一生懸命練習しています。本番は、観に来てくださった皆様を楽しくさせるようなパフォーマンスを行えるよう利用者一同やる気十分です。是非期待してください。

(荻野)

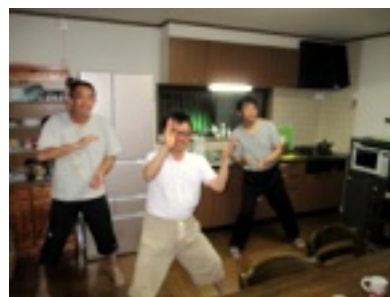
♪ぼくらは練習しているのさ♪
〜グリーングラス〜

ホーム内には、いつもコンサートで踊る曲・歌う曲が流れています。そのかいあって、職員が「恋するフォーチュンクッキー」と口ずさむと、利用者から「未来は



グリーングラス下笹目の様子
ホールに集まって合唱練習！

そんな悪くないわ♪」「ヘッヘイヘーイ」と返ってきたり、歌詞を見ずに「どんな花よりたんぽぽの」と歌う利用者がいたり、職員も自然と歌を口ずさんでいます。



こちらはグリーングラス
第2上戸田の様子
ノリノリで 踊ってます！

また、コンサートで踊るダンスの練習もそれぞれのホームで行っています。音楽を聞いて体を動かす利用者、歌を口ずさみながら部分的に踊る利用者、振付けをほぼ完璧に覚えている利用者など、11月15日(土)のコンサートに向け繰り返し繰り返し練習をしています。

最後に、コンサートに向けて利用者から、「コンサートがたのしみ」「ステージに立つの緊張するなあ」「コンサートに出たいけど当日は仕事だ。」「大きな声で歌います」「歌の練習むずかしい」

など少し緊張はあるものの前向きな言葉が返ってきています。練習中に見られる真剣な表情、笑顔が本番でも輝くようにこれからも一生懸命練習していきたいと思えます！コンサートまであと2ヵ月。職員も負けてられませんよ！。

(野上)

コンサートチケット
販売開始しました！

「ぼくらのありがとうコンサートINとだ」チケットが販売開始となりました。ご家族、友人お誘いあわせの上、是非、お越しください。

- ◆前売り .. 500円
- ◆当日券 .. 800円
- ◆指定席券 .. 800円

【コンサートチケット問い合わせ先】
コンサート実行委員会 事務局
戸田わかき会 かがやき 鈴木
TEL 048-471-9331



繋がりを支援します
(障害者生活支援センターわかば)

◆社会との繋がりの始まり

30年近く自宅に引きこもっていたA子さんは、昨年末お母様を亡くされ一人暮らしになりました。人と関わる事に不安の強いA子さんでしたが、ゆっくり関わる中で徐々に心が開かれ、ヘルパーさんの支援を受けながら暮らしています。

◆人間関係の広がり求めて

一人の寂しさで生きる氣力を失いがちなA子さんが、少しでも元氣になれば、という思いから、グリーンガラスで行われた草木染めの体験にお誘いしました。世話人さんも利



用者さんも快く受け入れて下さり、緊張しながらも、皆さんと一緒に染めの作業やおしゃべりの時間を楽しみました。

◆安心できる場を・・・

人は苦手、というA子さんも暖かな人間関係を求めています。グリーンガラスでの様子を見ながら『気軽に話せる集いの場』作りを考えていきたいと思いました。

(猪野)

職場定着支援に重きを

(戸田市障害者就労支援センター)

◆仕事を「見つける」だけでなく「続ける」

仕事が見つかる『なるべく長く働きたい』と考えるのは常。そのための支援の一つに「職場定着支援」があります。当センターでは定着支援に重点をおき、年間支援件数の半分を占めることも！その効果としては離職を未然に防いだり、スムーズな転職活動に移行できたりしたケースもありました。

◆定着支援ってなに？

支援員が定期的に職場へ訪問し、実際の仕事を見学、本人や会社の

担当者から話を聞きます。それぞれの希望・困っていること等を聞き、状況や変化を捉えて、改善方法等を本人(家族)、会社と相談しながら調整します。生活面の改善等が必要な場合は家族の協力をあおぐこともあります。万事解決できるわけではありませんが、障害のある人たちと会社とのパイプ



役として少しでも役に立てることがあると考え、これからも『働きたい』を応援していきます！

(蔭山)

気持ちに寄り添う支援

(障害者就業・生活支援センターみなみ)

◆支援者は会社の味方なんです

最近、Mさんから「(支援者)〇〇さんはいつも会社の味方なんです」と指摘されました。

就業してから1年半が経つMさんは療育手帳C、広汎性発達障害の診断を受けています。一般企業

で事務補助業務として、PC入力を行っています。仕事に慣れたMさんは、とても意欲的で『新しい仕事をしたい』『正社員になりたい』『家族を北海道旅行に連れて行きたい』と目標を持っています。



◆Mさんの気持ち

企業訪問をしたある時にMさんから仕事の仕方について提案がありました。支援者が企業担当者として協議した結果、本人の提案を「しなくても大丈夫だよ」と断ることがありました。その際に冒頭の指摘を受けました。

Mさんの提案という行為に対する受容や共感、提案を否定する理由や代わりに頑張ってもらいたいことなど、丁寧な説明が必要だったのだと思います。またMさん自身が思いを会社に伝えられるような支援が必要であったと反省をしました。

(酒井)

プロジェクト・委員会活動

戸田わかくさ会には、本部の他7つの事業所があります。法人全体の質の向上を目指し、事業所の垣根を越えた16のプロジェクトチームや委員会があります。今回は、一部ではありますが、それぞれの目的や活動内容を紹介いたします。

法人職員の基礎を築く

研修会を…

基礎研修・全体研修PT

わかくさ会の支援者にとって、基礎となる部分についての研修を企画するのが、基礎研修・全体研修プロジェクトの目的です。

福祉に携わる者としての、基礎・視点の持ち方・福祉に関わる法律について今年度は学ぶ予定になっています。

その第1回、第2回を連続研修として実施しました。内容は、当法人と関わりのあるご家族から、お子様たちの成長過程や、ご家族が障害に気づき受け止めるまで、これまでの想いやこれからの願いを伺い、事業所・支援者としての

役割、今、何が出来るのかといったことをディスカッションしました。

研修を通して、それぞれの支援者が感じたこと、学んだことが実践で活かせるようにと、委員一同、取り組んでいきます。

(宮國)



地域で創る障害福祉を

目指して

公開研修PT

戸田わかくさ会 公開研修会

テーマ「地域で支え合う」

日程 平成27年1月17日(土)

時間 午前10時～12時

会場 戸田市文化会館(予定)

※会場は変更になる場合があります。

第1部では、地域で生活している障害者の方が、福祉サービスを利用する事になった経緯や、どのように地域の方々に関わって来られたかを、2組の方に体験を通して語って頂きます。

第2部では「地域で創る障害者福祉」をテーマに、市民講座を開催致します。市民の方々と一緒に、地域福祉を考えて行きたいと思えます。

(山本)

市内の事業所と共に、

日頃の実践を共有

実践交流研修PT

実践交流研修PTでは、日頃、各事業所で取り組んでいる実践を持ち寄り、事例等を交えた「実践交流研修会」の開催を企画、検討しています。

この研修会は市内の多くの事業所とともに実行委員会を立ち上げ、ともに運営していきたいと考えています。

各事業所が研修会を活用していただくことで、戸田市全体の福祉力の向上や、情報交換、課題共有をおこなえる関係づくりを図ってまいりたいと思います。(石川)

「親の5年後 子ども5年後

一緒に考えよう！」勉強会

障害者の地域生活を実現する委員会

「これからずっと住み慣れたこの街で暮らしたい。そのためにどんなことが出来るの？」状況はそれぞれ違っていても将来への希望や不安を語り合い、いま出来ることを知り共に行動に移して行けたら、きっと地域の未来は変わっていく。そんな思いを胸に、ご

家族や関係者の皆様と一緒に学びながら安心して暮らし続けることの出来る地域づくりを目指し勉強会を行って来ました。9月からは県内のグループホーム見学ツアーも実施しております。今後も共に考え支え合う場の企画を続けて行きます。ちよつと見学だけでも歓迎です。ぜひお気軽にお問い合わせください。(高野)

一人ひとりが働き易い職場を

自分たちの手で

安全衛生委員会

今年度より新しく設置された安全衛生委員会の紹介を致します。安全衛生委員会では、今年度の活動方針として『5S活動』を推進していきます。

『5S活動』とは、トヨタ自動車で行われている労働環境改善の手法です。「整理」「整頓」「清掃」「清潔」「しつけ(ルール)」の頭文字の「5S」を取っている活動です。

この『5S活動』を実施することで、労災や業務の軽減を行い、職員一人ひとりが働き易い環境を、自分達の手で作り上げて行けるように、取組んで行きたいと考えています。

(和田)



工房集での展示会の様子

は自宅から持ち出すことが難しく、今まで多くの方に見てもらおう機会がありました。また、埼玉県のある「障害者人材育成基金」の助成を受け、作品集の冊子を作成するほか、12月に行われる埼玉県障害者アートフェスティバルに入選されるなど、多くの方に見ていただく機会をいただいています。是非とも作品から「驚きと感動」を感じてもらいたいと思います。是非今後の活躍もご期待ください。

わかくさ会アーティスト

作品集を

発行します!!

自宅ですと大きな街を作り続けた福祉作業所、ゆうゆうに所属する水村英喜さん。豊1枚ほどある彼の作品(ジオラマ)

お知らせ

障害者アートフェスティバル開催

県内の障害のあるアーティストの作品を展示した展覧会です。

わかくさ会のアーティストも多数出展します。是非足をお運びください。

■開催日…平成26年12月12日(金)

12月16日(火)

■場所…埼玉会館

さいたま市浦和区

高砂3-1-4

■入場無料



去年のフェスティバルの様子
自分の作品を見つけて飛び切りのスマイルでした!

戸田市障害者就労支援センター 利用説明会のお知らせ

就労支援センターの利用方法や支援内容等をわかりやすくご説明いたします。

■日時…10月23日(木) 14時～15時

■場所…戸田市障害者就労支援センター

■対象…戸田市福祉作業所2・9・11階、戸田市内在住の障害のある方、および家族

■申し込み方法…電話にて申し込みください

電話…048-471-9333

第4回 健康福祉まつり とだ共同受注センターこるぼ わかばが来店します!

健康福祉まつりは喫茶カフェこるぼのある戸田市福祉保健センターで行われるイベントです。健康づくりや福祉の活動について学ぶ機会となっています。

今年、わかばでは車イス体験・視覚障害アイマスク体験を、とだ共同受注センターでは模擬店や市内作業所で作られた自主製品の販売、埼玉県美里町で作られた野菜販売を行います。

また、昨年に引き続き、戸田わかくさ会後援会のご協力をいただき、豚汁や団子の販売も行います。他にも楽しい企画が用意されています。是非、遊びに来てください。

■開催日…平成26年11月9日(日)

10時～15時

■場所…戸田市福祉保健センター

☆法人の主な予定☆

10月3日(金) わかくさ日帰り旅行

10月5日(日) 地域福祉まつり

ICTe-3参加(かがやき)

どらやき・自主製品販売(ゆうゆう)

10月30・31日 ゆうゆう一泊旅行

11月15日(土) 法人化10周年記念式典(法人全体)

ありがとうコンサート参加

12月25日(木) 利用者忘年会(ゆうゆう・わかくさ)

1月17日(土) 公開研修

編集後記

本格的な秋到来。コンサート本番も刻々と近づいてきました。一生懸命にそして楽しそうに笑顔で練習している利用者の姿に元気をたくさんもらっています。キラキラに輝いている姿をぜひ見に来て下さい。(石)

(法人の運営する事業所)

わかくさ、福祉作業所ゆうゆう、福祉作業所かがやき、グリーングラス、障害者生活支援センターわかば、戸田市障害者就労支援センター、障害者就業・生活支援センターみなみ

(ホームページはこちら)

<http://www.wakakusa-kai.com/>

【発行】

社会福祉法人戸田わかくさ会

〒335-0021 戸田市新曾 1522-1

Tel048-432-8198 fax048-432-8298